



事務事業の市民点検2020

最終報告

2021 年 3 月
市原市

目次

1 実施概要について	1
(1) 目 的	1
(2) 点検の基本的な考え方	1
(3) 全体スケジュール	1
(4) 点検従事者数の実績	2
(5) 対象事務事業の選定	3
(6) 点検方法	4
2 最終報告について	5
(1) 最終報告までの流れ	5
(2) 反映結果と反映先	5
(3) 点検による効果	6
3 総括について	10
(1) 市民点検の成果検証について	10
(2) 課題と今後の取組について	10
4 事務事業一覧	13

1 実施概要について

(1) 目的

ア 持続的な改革・改善による行政経営

計画・予算・改革が一体となったトータルシステムにおいて、統合的解決によるビルド&スクラップを推進するため、一連の流れの中で、職員点検（施策単位の事務事業点検）と事務事業の市民点検を実施し、持続的な改革・改善をもっと前に進めます。

イ 対話による改革・改善の推進

(ア) 職員の意識改革から組織文化の変革

点検での気づき、組織内対話、組織間対話を通じて、事務事業の原点に立ち返り、組織目標を共有化して、自律的な改革・改善を行えるよう組織文化の変革を促します。

(イ) 市民参画の更なる推進

点検を通じて更なる市民参画を図り、市民本位の行政経営を推進します。

(2) 点検の基本的な考え方

市が行う事務事業は、内容が目的達成の最適な手段となっているか、常に原点に立ち返り不断の見直しを行い、主体的な改革につなげることが必要であることから、市民との対話により点検を行いました。

点検の結果は、成果が目に見えるよう、実行計画、次年度予算、行財政改革アクションプランの見直し等に反映させます。

なお、点検の結果は、拘束力を持つものではありません。しかし、外部評価及び客観的評価として尊重し、説明責任を果たすため、点検結果及び反映結果は（反映できない場合は理由も付して）全て公開します。

(3) 全体スケジュール

5月～6月	・職員点検及び市民点検の実施について検討
7月	・行政改革推進本部、事務改善委員会の開催 ・事業シートの作成に係る研修会の実施（研修会後作成開始） ・職員点検の実施（7/27～8/6）→市民点検対象事業の選定
8月	・行政改革推進本部、行政改革推進委員会の開催 ・市民へ募集案内の発送
9月	・事業シートの公開（全522事業） ・市民点検員の決定、市民点検員研修会の実施
10月	・論点整理研修の実施 ・市民点検実施（10月3日、4日）
11月	・中間報告の取りまとめ
12月	・行政改革推進委員会へ報告 → 公表（ウェブサイト等）
1月	・最終報告の取りまとめ
2月	・行政改革推進本部の開催
3月	・行政改革推進委員会へ報告 → 公表（ウェブサイト等）

(4) 点検従事者数の実績

項目		1 無作為抽出 点検員		2 OB・OG点検員 ^{※2}		3 高校生 ^{※3}		計	
案内状発送		1,600 ^{※1}		209		8		1,817	
応募者（応募率）		25（1.6%）		41（19.6%）		8		74	
研修 （参加率＝研修／応募者）		20（80.0%）		30（73.2%）		6（75%）		56（75.7%）	
市民点検 （参加率＝点検／応募者）	上段 10/3	10	22（88.0%）	21	38（92.7%）	4	8（100%）	35	68（91.9%）
	下段 10/4	12		17		4		33	

■市民点検参加者 内訳

性別	人数	割合
男性	43	63.2%
女性	25	36.8%
合計	68	100.0%

年代	人数	割合
10代	11	16.2%
20代	7	10.3%
30代	11	16.2%
40代	10	14.7%
50代	7	10.3%
60代	5	7.3%
70代	15	22.1%
80代	2	2.9%
合計	68	100.0%

■市民点検 傍聴者数

62	・10/3(土) 27人 ・10/4(日) 35人
----	------------------------------

※1 18歳以上の市民を無作為に抽出して案内状を発送

※2 OB・OG点検員＝過去の点検に参加したことのある市民点検員

※3 千葉県立京葉高等学校、東海大学付属市原望洋高等学校、市原中央高等学校
無作為抽出の中からも、高校生1名が参加

(5) 対象事務事業の選定

昨年度までの市民点検では、各部門からの提案方式で対象候補となる事務事業を提案した後、市原市行政改革推進委員会に諮り、選定してきました。

今年度は、総合計画を着実に進め、自分の仕事だけでなく、全庁の仕事を自分事化して考えるため、総合計画の施策に紐づく事務事業について職員点検を行いました。

その後、職員点検で「検討」と判定された 36 事業の中から、16 事業を市民点検の対象候補として選定し、市原市行政改革推進委員会に諮った後、決定しました。

詳細は、以下のとおりです。

ア 職員点検の実施

(7) 点検事業数

総合計画の 44 施策 全 773 事業（再掲除く）

このうち、インフラ等のハード整備事業、義務的事務事業を除く 504 事業を点検

(4) 点検方法

関係性のある施策を組み合わせ、事務事業数が概ね均等になるよう、504 事業を 18 組に分けました。

庁内職員で組織した事務改善委員会の委員を 18 組に分け、次長職の職員をコーディネーター、課長職の職員を点検員とし、対象事業の事業担当課職員が説明員となって、「実施」「検討」「廃止」の 3 区分で判定を行いました。

(5) 判定結果及び反映先

【判定結果】

実施：464 事業

検討：36 事業

廃止：4 事業

【反映先】

①市民点検の対象：16

②関係部協議：14

③実行計画・予算での検討：6

イ 市民点検の事業選定

(7) 選定事業数

職員点検で「検討」と判定された 36 事業の中から 16 事業

(4) 選定理由

① 職員点検で「市民点検の対象」と振り分けられた 3 事業

② サポート員（企画部、総務部、財政部の職員）が、事業のやり方等について市民の意見を聞いた方が良いと考える 13 事業

(6) 点検方法

市民点検の参加者は、コーディネーター1名、市民点検員7～8名、説明員（市の担当課職員）2～3名がグループとなり、グループごとに実施しました。

1事業当たりの点検方法と判定については、以下のとおりです。

事業説明	役割：説明員（市の担当課職員）	10 分		
	説明員が、市民点検用説明シート及び事業シートに基づき、事務事業の要点や補足を簡潔に説明しました。			
対話 質疑応答	役割：コーディネーター・各市民点検員	50 分		
	コーディネーターが、対話が促進されるよう点検を進行しました。 市民点検員は、事務事業の内容や実績等について、質疑を行い、事業の在り方、実施方法等について対話を行いました。			
判定	役割：コーディネーター・各市民点検員	10 分		
	対話に基づき、判定シートを用いて結論を出し、結果及び内訳を公表しました。 <table><tr><td>判定区分</td></tr><tr><td>ちょっと待った！（廃止・凍結）</td></tr><tr><td>もう一歩！（要改善）</td></tr><tr><td>いいね！（継続）</td></tr></table> 判定以外にも、各市民点検員の御意見は、判定シートへ記入し、その内容を担当課へ回付しました。		判定区分	ちょっと待った！（廃止・凍結）
判定区分				
ちょっと待った！（廃止・凍結）				
もう一歩！（要改善）				
いいね！（継続）				
※時間は目安であり、点検内容によって増減あり		計 70 分		

※市民点検員には、半日単位の参加で1,000円の図書カードを進呈（事前研修参加も含む）

2 最終報告について

(1) 最終報告までの流れ

16 の事務事業について、68 名の市民点検員の方々に参加いただきながら点検を実施しました。点検の結果、「ちょっと待った！（廃止・凍結）」が2事業、「もう一步！（要改善）」が13事業、「いいね！（継続）」が1事業となりました。

事務事業の見直しに当たっては、調整等も必要なため、「中間報告」と「最終報告」の2段階に分けて報告することとしました。

中間報告では、「反映の方向性」と「担当職員の得られた気付き」に加え、今回の市民点検の実施で見えてきた課題についてまとめました。

中間報告を経て、各担当課による事務事業の見直しや、庁内でのレビューを重ね、市民点検の成果として、以下のとおり最終報告を取りまとめました。

(2) 反映結果と反映先

市民点検の結果は、次のとおり反映することとしました。このうち、「廃止」「改善」とした15の事務事業について、最終的な反映先は下表のとおりです。また、「継続」とした1つの事務事業については、事業目的や進め方について一定の評価は得られました。今度も不断の見直しを図りながら進めていきます。

点検結果			最終報告（反映結果）		
判定	事業数		廃止	改善	継続
ちょっと待った！（廃止・凍結）	2	→	2	0	0
もう一步！（要改善）	13	→	3	10	0
いいね！（継続）	1	→	0	0	1
合 計	16		5	10	1

【反映先】

即時反映	実行計画・ 令和3年度予算	行財政改革 アクションプランⅡ
8	6	1
点検結果を受け、予算には影響せず、今年度中又は次年度中にすぐに改善して取り組むもの。 （例）ニーズ把握のためのアンケート調査を実施する。事業周知方法を見直し、紙媒体からSNSを活用した広報等に改善する。	事務事業を見直し、次期実行計画に位置付けるとともに、令和3年度当初予算に反映させるもの。 （例）次年度から廃止する。事業費を減額（増額）して実施する。	行財政改革アクションプランⅡに位置付けるもの。 （例）事務事業の主体や実施方法を見直しに相手側との協議が必要で、複数年かけて反映させていく。

(3) 点検による効果

ア 削減額

点検による削減額は、合計で▲ 16,992 千円となりました。
内訳は以下のとおりです。

N o	事務事業名	点検結果	最終報告 (反映結果)	削減額 (千円)
1	観光農園促進事業	ちょっと待った！ (廃止・凍結)	廃 止	▲12,794
2	ロビーコンサート開催事業	ちょっと待った！ (廃止・凍結)	廃 止	▲63
3	はり・きゅう・マッサージ等 施設利用費助成事業	もう一步！ (要改善)	廃 止	▲1,535
4	元気な商業者支援事業	もう一步！ (要改善)	廃 止	▲500
5	農家レストラン支援事業	もう一步！ (要改善)	廃 止	▲1,100
6	地域資源を活かした観光振興事業	もう一步！ (要改善)	改 善	▲1,000
合 計				▲16,992

イ 気付きによる改革・改善の推進

市民点検の対話によって得られた気付きを基に、自律的な改革・改善につなげることができました。各事務事業の概要は以下のとおりです。

なお、詳細な改善点等は、P13 以降の事務事業一覧を参照

(ア) 点検結果が「ちょっと待った！(廃止・凍結)」、最終報告では「廃止」とし、「実行計画・令和3年度予算」に反映させるとした事務事業(2事業)

N o	事務事業名	改善点の概要
1	観光農園促進事業 (農林業振興課)	農家の所得増や担い手の確保が本質的な目的であることから、農家へのより効果的な支援策を検討するため、本事業は廃止します。
2	ロビーコンサート開催事業 (ふるさと文化課)	市が直接実施するよりもノウハウがある民間事業者が実施した方が効果的であるため、本事業は廃止します。

(イ) 点検結果が「もう一步！(要改善)」、最終報告では「廃止」とし、「実行計画・令和３年度予算」に反映させるとした事務事業(3事業)

N o	事務事業名	改善点の概要
3	はり・きゅう・マッサージ等施設利用費助成事業 (国民健康保険課)	対象者が限定され、利用率も減少していることから、高齢者の健康保持・健康増進により効果のある事業に取り組んだ方が良いという視点から、本事業は廃止します。
4	元気な商業者支援事業 (商工業振興課)	3社以上の連携が必要という条件が事業者支援の幅を狭めていること。また、類似する「ふるさと名物応援事業」との統合検討など、再構築する必要があると判断したため、本事業は廃止します。
5	農家レストラン支援事業 (農林業振興課)	市内農産物の地産地消やPRが本質的な目的であり、農家レストランへの支援と限定せず、農産物のブランド確立を基軸に再検討することとしたため、本事業は廃止します。

(ウ) 点検結果が「もう一步！(要改善)」、最終報告で「改善」とし、「即時反映」させるとした事務事業(8事業)

N o	事務事業名	改善点の概要
6	総合計画推進事業 (総合計画推進課)	トータルシステムにおけるいちほら未来会議と市民点検について、それぞれの目的・役割を整理するとともに、より効果的な取組につながるよう、相互の委員交流や情報共有など、連携した事業展開を図ります。
7	児童遊園事業 (子ども福祉課)	市民ニーズを反映しつつ、役割を終えた児童遊園は随時廃止していきます。また、市民からすると児童遊園と都市公園の違いが分かりにくいいため、公園の一体的管理について関係部局との協議を行っていきます。
8	放射線モニタリング事業 (環境管理課)	目的としている市民の不安解消について、それが測れる成果指標が設定できていなかったため、市ウェブページのアクセス数を関心度として追加します。

No	事務事業名	改善点の概要
9	雇用安定対策事業 (商工業振興課)	中小企業支援として、「今、働いている人への支援」も含めて検討していきます。職業訓練校は、時代のニーズに合ったメニューとなるようにするため、随時、学校側と協議のうえ実施します。
10	商店街街路灯設置等事業 (商工業振興課)	市内に3種類ある街路灯(道路、防犯、商店街)の運営管理の一本化については、設置目的が異なる等の問題もあり、直ちに実施することは困難ですが、市民生活に支障が生じることの無いよう、適切な維持管理の促進等について、情報共有を徹底してまいります。
11	社会教育振興事業 (生涯学習センター)	目的としている家庭や地域の教育力の向上のためには、PTA活動に対する理解を広めることが重要であり、PTA活動になかなか参加できない保護者にアプローチすることが有効です。そこで、市教育委員会との共催で行う「親の学びと交流フォーラム」を動画配信するなどして、会場に足を運ばなくても視聴できるようします。
12	生涯学習フェスティバル 開催事業 (生涯学習センター)	新型コロナウイルスの感染症防止対策として、従来どおり集客しての開催ではなく、時間や場所を選ばず誰もが体験できる3つのメニュー「ヨガ」「ヒップホップ」「骨盤体操」を動画配信することとしました。今後、より多くの方に視聴いただけるようSNS等を活用して周知していきます。また、生涯学習フェスティバルという事業名称については、より親しみやすいものとするため、サブタイトルに「笑顔で体験☆笑フェス」を付け加えました。
13	家庭教育支援事業 (生涯学習センター)	目的としている家庭の教育力向上を図るため、「家庭教育学級事業」では公民館と連携するなどして内容を充実させるとともに、PTAの負担軽減を図ります。また、「家庭教育リーフレット」は、記載内容の見直しと配布先を追加(市外からの小・中学校転入時)します。

(エ) 点検結果が「もう一歩！（要改善）」、最終報告で「改善」とし、「実行計画・令和３年度予算」に反映させるとした事務事業（１事業）

N o	事務事業名	改善点の概要
14	地域資源を活かした観光振興事業（観光振興課）	更なる誘客促進のため、効果的で魅力のある事業の構築について、ターゲットを明確化して、近隣自治体を含む関係団体等と協議を重ねていきます。また、周遊バスについては、紅葉のピーク時にタイミングを合わせてバスの運行本数を見直し、その上で、実効性の高いPR方法を検討、実施していきます。

(オ) 点検結果が「もう一歩！（要改善）」、最終報告で「改善」とし、「行財政改革アクションプランⅡ」に反映させるとした事務事業（１事業）

N o	事務事業名	改善点の概要
15	魅力ある観光地づくり事業（観光振興課）	魅力ある景観や環境を整備してくれている地域団体の真の支援につながるよう、制度の周知と需要の掘り起こしを進め、各団体が使いやすく効果的な補助金となるように要綱を見直します。また、各団体のモチベーション向上につながるよう、団体の活動内容や実績について対外的に発信します。

(カ) 点検結果が「いいね！（継続）」、最終報告で「継続」とした事務事業（１事業）

N o	事務事業名	改善点の概要
16	市原市ボランティアセンター補助事業（地域連携推進室）	ボランティアの裾野拡大とボランティア活動へのコーディネート機能の充実を図るため、ボランティアセンターとの連携を更に強化していきます。

3 総括について

事務事業の市民点検は、無作為抽出の市民が市役所の仕事（事務事業）を直接点検する、全国でも先進的な取組として 2016 年度、2018 年度、2019 年度に続き、今年度で 4 回目の実施となりました。今回の市民点検の成果について検証し、そこから見えてきた課題について、今後の取組につなげられるよう整理しました。

(1) 市民点検の成果検証について

ア 庁内横断的な課題の統合的解決と更なる対話の活性化

庁内の部門間での対話を促進させ、複数の部門にまたがる課題を統合的に解決するため、「組織間対話」に取り組みました。

具体的には、職員が自分以外の部署の仕事も自分事として捉えられるよう、職員点検を全庁的な取組として実施したことで、庁内での対話を徐々に浸透させることができました。今後、「組織間対話」が日常的に行われる組織となるよう、継続的な取組によって効果を高めていく必要があります。

イ 点検による気付きや納得性の向上

市民点検では、毎年度、無作為抽出によって新規市民点検員に御参加いただくとともに、対話の活性化につなげるため、過去の点検経験者に OB・OG 点検員として、御参加いただいています。

今回は、点検時における市民と職員の対話の活性化を図るため、OB・OG 点検員による「論点の深掘り」と、新規市民点検員の「点検制度の理解」を目的とし、それぞれ内容を変えて事前研修を実施しました。経験者の視点を持つ OB・OG 点検員と、新たな視点を持つ新規市民点検員が、研修を経て一緒に点検に参加することで相乗効果が生まれ、点検後のアンケートでは職員の「気付き」や「納得性」の数値が向上しました。

(2) 課題と今後の取組について

ア 更なる自律的な改革・改善

事業成果の捉え方が十分でないために、事業を実施すること自体が目的にすり替わってしまっている事業など、ゴールが見えなくなっている事業も見受けられました。また、市民点検員からの質問に対し、職員が自分の部署のデータは説明できても、関連する他部署のデータは説明できない場面もありました。

⇒ 事業シートを活用して成果指標の更なる明確化を図るとともに、事業シートを定期的に更新・公開し、職員が全庁を意識しながら仕事をすることで、更なる自律的な改革・改善につなげます。

イ 市民参画の幅の広がり

過去 3 回にわたる市民点検により、計 274 名の市民の方々（高校生・大学生を含む）に御参加いただいています。今回の実施においても、OB・OG 点検員としての案内状を送付したところ、19.6%もの応募率（前回 29%）がありました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前回と比べると応募率は下がりましたが、新規市民点検員（応募率 1.6%）と比較すると非常に高い数値となっています。

これは、市民点検を継続してきたことにより、市政を身近なものとして捉えていただけるようになり、市民参画が促進された成果だと考えています。

しかしながら、回を重ねるごとに増加する OB・OG 点検員の活躍の場が限定的となっています。

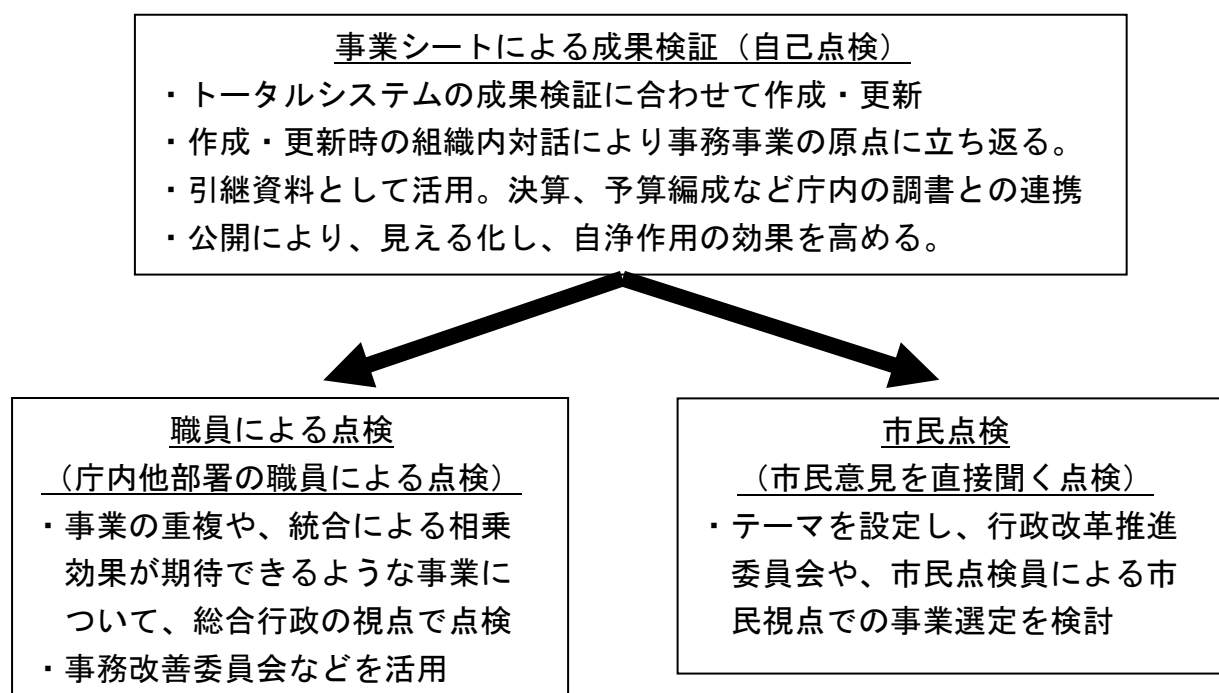
⇒ 今後は、事務事業の市民点検に限らず、市附属機関の公募委員や、（仮称）行革モニターになっていただき、市政参画の機会を増やしていきます。

ウ 今後の取組イメージ

今回の市民点検は、計画・予算・改革が一体となったトータルシステム（総合計画の PDCA サイクル）において、統合的解決によるビルド&スクラップを推進するため、一連の流れの中で実施し、持続的な改革・改善を前に進めてきました。

しかしながら、事業シートの作成・公開のタイミングの遅れや、職員点検で十分な検討期間をとれなかったことなどから、トータルシステムに組み込み切れていないことが課題として挙げられます。

今後は、年度が切り替わる前から事業シートによる成果検証をスタートし、職員による点検、市民点検をトータルシステムにおける「各事務事業のチェックプロセス」（PDCA サイクルの C：チェック）として効果的に機能させ、次のアクション（PDCA サイクルの A：アクション）につなげていくことで、総合計画を着実に推進します。



エ その他の課題についての対応

(ア) 事業シートの修正期間の確保

今回の市民点検では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、コーディネーターとの論点整理研修の後、事業シートを修正する期間を設けることができませんでした。これにより、実施後のアンケートでは、説明員（市の担当課職員）の説明が分かりやすかったと答えた市民点検員が29%（前回43%）、傍聴者が17%（前回34%）であり、事業シートを修正する期間を設けられた前回と比べて、大きく数値が下がる結果となりました。

事業シートの精度を高めることが、説明の分かりやすさや、当日の対話の活性化にもつながるため、今後は、コーディネーターと論点を整理した後、事業シートの修正期間を確実に確保できるよう、全体スケジュールを計画的に組み立てて実行していきます。

(イ) 視聴室(別室)の改善

今回の市民点検では、新型コロナウイルス感染症拡大の防止策として、市民点検員の席の間に、クリアパーティションを設置したり、傍聴者が密にならないように点検会場の隣に、会場の様子を視聴できる視聴室を用意しました。

しかし、視聴室においては、音声聞こえにくかったり、ホワイトボードの文字が読めないなどの課題が見えてきたため、今後はカメラの位置を修正したり、2画面を使用するなど、更なる改善を図っていきます。

4 事務事業一覧

(1) 点検結果が「ちょっと待った! (廃止・凍結)」、最終報告では「廃止」とし、「実行計画・令和3年度予算」に反映させるとした事務事業 (2事業)

No	事務 事業名	担当 課室	【点検結果】					判定のポイント となった理由	反映の 方向性	担当職員の 得られた気付き	【最終報告】				
			判定	一内訳一			参考				ア 反映結果	イ 反映先	ウ 効果額（千円）		エ 市の考え方等 （具体的な見直し内容や方針）
				ちょっと 待った！ （廃止・凍結）	もう一 歩！ （要改善）	いい ね！ （継続）							スラップ （減額）	ビルド （増額）	
1	観光農園促進事業	農林業振興課	ちょっと待った！ （廃止・凍結）	6	3	0	ちょっと待った！ （廃止・凍結）	市内農家の所得増、担い手の確保が本質的な目的だと思うので、観光農園だけでは季節が限定され、経営が難しい。農業部門だけではなく、観光などと連携して、体験、宿泊、販売などが行える複合施設ができたらいという意見がありました。 その他、体験をメインに差別化して、例えば、低価格でできる「〇〇狩り」といったメニューができるように、体験メニューに対して補助金を出す制度があってもよいのではといった意見もありました。 以上の理由から、判定は「ちょっと待った！（廃止・凍結）」となりました。	実行計画・令和3年度予算	目的（目指す姿）に対する事業（手法）の有効性及び適正性について、改めて考えさせられる良い機会となりました。 この視点は、本事業に限らず、どの事業にも共通するため、他の事業も含め、今後の見直しや事務改善にいかしていきたいと思います。	廃止	実行計画・令和3年度予算	12,794	0	令和2年3月の都市計画法に基づく「千葉県開発審査会提案基準」の見直しにより、法定計画と整合を図った上で、市街化調整区域への「農業体験施設」や「農家レストラン」等の設置が可能となりました。 市では、この見直しをビジネス機会の拡大につながるチャンスと捉え、令和2年9月に法定計画となる「市原市都市農業振興計画」を策定し、各取組を進めているところです。 本事業は廃止し、今後、本計画に基づき、農業者の所得増・収益向上につながるより効果的な支援策を検討してまいります。
2	ロビーコンサート開催事業	ふるさと文化課	ちょっと待った！ （廃止・凍結）	5	3（市で） 0（民間で）	0	ちょっと待った！ （廃止・凍結）	音楽による文化振興については、市が直接実施するよりもノウハウを持っている民間が取り組んだ方が効果的ではないか。よって、事業主体は、市ではなく民間に任せてもよいのではないかと意見が多くありました。 また、市役所の分庁舎の影響もあり、観客数が減少しているため、会場を市役所のロビーにこだわらず、もっと集客が見込める大型ショッピングセンターなどで実施してもよいのではないかと意見がありました。 以上の理由から、判定は「ちょっと待った！（廃止・凍結）」となりました。 その他、「もう一歩！（要改善）」と判定した点検員からは、完全に民間に任せきりにするのではなく、市民が音楽に気軽に触れる機会を増やすという方向で連携して工夫して欲しいという意見もありました。	実行計画・令和3年度予算	平日に実施するため、学生や働く世代の方々は、足を運ぶことのできる機会が少なく、ロビーコンサートの認知度が大変低いことがわかりました。 市役所を飛び出して、大型ショッピングセンターで開催したり、演奏する機会がない人に発表の場を提供したりなど、目から鱗の新鮮な意見をいただきました。	廃止	実行計画・令和3年度予算	63	0	音楽による文化振興については、市が直接実施するよりもノウハウを持っている民間が取り組んだ方が効果的であるため、市ではなく民間に任せてもよいのではないかと意見を多くいただいたことから、今後は、公益財団法人市原市文化振興財団の事業に組み込み、直営事業としては、廃止します。

(2)点検結果が「もう一步！(要改善)」、最終報告では「廃止」とし、「実行計画・令和3年度予算」に反映させるとした事務事業（3事業）

No	事務 事業名	担当 課室	【点検結果】					【中間報告】		【最終報告】					
			判定	一内訳一			参考	判定のポイント となった理由	反映の 方向性	担当職員の 得られた気づき	ア 反映結果	イ 反映先	ウ 効果額（千円）		エ 市の考え方等 （具体的な見直し内容や方針）
				ちょっと 待った！ （廃止・凍結）	もう一 歩！ （要改善）	いい ね！ （継続）							スクラップ （減額）	ビルド （増額）	
3	はり・きゅう・マッ サージ等施設利用費助 成事業	国民健康 保険課	もう 一歩！ （要改善）	2	6	0	ちょっと 待った！ （廃止・凍結）	対象者が限定されており、利用者数も年々減少しているので、事業継続の意味が無くなってきているのではないかという意見がありました。 また、健康保持、健康増進を進めるのであれば、科学的な根拠やデータが必要ではないかといった意見もありました。 【事業目的】 高齢者の健康保持と健康増進及び経済的負担の軽減を図ることを目的としています。 【事業内容】 市原市内在住の65歳以上で市県民税非課税世帯の方を対象とし、市原市指定のはり、きゅう、マッサージの施術所において、施術を受ける際、利用券を使用することにより、1回当たり800円を助成しています。	実行計 画・令和3 年度予算	はり・きゅう・マッサージの助成の存在を知らない方が大半であることに驚き、事業周知不足を感じました。対象者を非課税世帯に限定し、年々利用者数も減少していることから「事業目的を果たしているのか。もっと多くの高齢者の健康に貢献できる取り組みはないのか。」と事業を見直すべきではないかと感じました。今まで実施してきたから続けるのではなく、市民のニーズに応え、効果の見える事業を検討する必要があると再認識しました。	廃止	実行計 画・令和3 年度予算	1,535	0	本市では高齢者の健康保持増進及び経済的負担の軽減を目的として、費用の一部を助成してきました。しかし、市原市行財政改革大綱による「市単独扶助費の見直し」に基づいた検討や、ビルド&スクラップの観点から本制度を精査した結果、利用率が低く、また客観的な事業効果測定が困難であることから、今後展開する「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」において、健康の保持増進の取組を強化し、本制度は令和2年度末で廃止することとしました。
4	元気な商業 者支援事業	商工業振 興課	もう 一歩！ （要改善）	1	7	0	もう 一歩！ （要改善）	3社以上が連携してという点が新規申請の妨げになっている。対象を幅広くとらえ、新規の事業者がチャレンジできるように要件の緩和を検討していけるとよい。助成する内容によっては、上限額に差をつけても良いのではないかという意見がありました。 また、事業周知の工夫が必要といった意見や、新商品開発には情報や人脈も必要であるため、異業種の事業者が触れ合える機会を作るのも良いのではといった意見もありました。 以上の理由から、判定は「もう一歩！（要改善）」となりました。 その他、「ちょっと待った！（廃止・凍結）」と判定した点検員からは、「ふるさと名物応援事業」と統合して合理化したらよいという意見もありました。	実行計 画・令和3 年度予算	対象を幅広く、あるいは上限額に差をつけるといった意見について、的確な御指摘であると感じました。 ふるさと名物応援事業との統合については、事業実施の背景が大きく異なるため、点検員への説明が十分ではなかったと感じています。	廃止	実行計 画・令和3 年度予算	500	0	市民点検の結果を踏まえ、「元気な商業者支援事業」及び「ふるさと名物応援事業」の統合等、事業の再構築が必要であると判断いたしました。このことから、令和3年度については事業を廃止し、令和4年度に新たな事業として実施します。
5	農家レスト ラン支援事 業	農林業振 興課	もう 一歩！ （要改善）	3	6	0	ちょっと 待った！ （廃止・凍結）	本質的な目的としては、市内の農産物について、地産地消やPRにつなげていくことにあるならば、その手段として農家レストランという形にこだわらず、ネット販売や、SNSなどで情報発信を行うことも有効ではないかという意見がありました。 また、補助金の対象を市内に限らず、市原産の農産物を使ってPRしてくれる飲食店であれば、市外、県外にも広げて良いのではという意見もありました。 以上の理由から、判定は「もう一歩！（要改善）」となりました。 その他、農家レストランという名称だと、農家の方が営業しているレストランという印象が強いため、地産地消をアピールするならば、「地産地消レストラン」という名称にしても良いのではという意見もありました。	実行計 画・令和3 年度予算	地産地消の推進に関する事業について、地消に拘らず、市原市産農産物のブランド確立を基軸に事業を考えた場合には、補助対象を市内に限定せず、市外も対象とするメリットに気付かせていただきました。	廃止	実行計 画・令和3 年度予算	1,100	0	地産地消の推進に関する事業について、市原市産農産物のブランド確立を基軸に再構築することとしました。よって、本事業は廃止し、農家レストランとは限定せず、また市内に限らず市外も対象とするよう事業のあり方を見直します。

(3)点検結果が「もう一步！(要改善)」、最終報告で「改善」とし、「即時反映」させるとした事務事業（8事業）

No	事務事業名	担当課室	【点検結果】						【中間報告】		【最終報告】				
			判定	－内訳－			参考	判定のポイント となった理由	反映の 方向性	担当職員の 得られた気づき	ア 反映結果	イ 反映先	ウ 効果額（千円）		エ 市の考え方等 （具体的な見直し内容や方針）
				ちよつと 待った！ （廃止・凍 結）	もう一 歩！ （要改善）	いい！ ね！ （継続）							スクラップ （減額）	ビルド （増額）	
6	総合計画推進事業	総合計画推進課	もう 一步！ （要改善）	1	8	0	もう 一步！ （要改善）	事業の目的、手段、成果が分かりにくいといった意見や、目的に対してどのような結果になれば成果と言えるのかなどがもう少し分かりやすく表現できると良いという意見がありました。 また、いちはら未来会議については、市と市民が市政について対話する場として、市民参加の意味では非常に良いという意見が多くありました。しかし、現状のやり方だと、ビルドの部分はあっても、スクラップにつなげていくのは難しいのでは。計画・予算・改革がスムーズに進むように、市民参加とトータルシステムが、ビルド&スクラップとうまく絡まり合う仕組みを考えていく必要があるのではないかと。せっかくの良い取組なので、有機的に機能させる方法を検討して欲しいといった意見がありました。 以上の理由から、判定は「もう一步！（要改善）」となりました。 その他、いちはら未来会議と事務事業の市民点検は、どちらも無作為抽出で市民に参加をしてもらっているため、市民点検のOB・OG点検員が未来会議に参加したり、逆に未来会議の参加者が市民点検の点検員となったりなど、一体と考えられたら良いのではといった意見もありました。	即時 反映	トータルシステムにおける市民点検といちはら未来会議、それぞれの目的・役割を整理したいと思います。また、現在も市民点検のOBから未来会議の委員として参加していただいている方もいることから、今後の委員交流についても検討したいと思います。市の将来に向けた取組（ビルド）を共有した上で、改善改革に向けた取組（スクラップ）について検討するなど、未来会議と市民点検を線で結んだ事業展開にしても良いと感じました。	改善	即時反映	0	0	トータルシステムにおける市民点検といちはら未来会議、それぞれの目的・役割を整理します。 併せて、いちはら未来会議と事務事業の市民点検の情報や成果を共有することで、より効果的な取組につながると考えられることから、今後、相互の委員の交流や情報共有など、未来会議と市民点検を連携した事業展開を検討してまいります。
7	児童遊園事業	子ども福祉課	もう 一步！ （要改善）	1	7	0	もう 一步！ （要改善）	児童遊園と都市公園の違いは、市民からすると分かりにくい。都市公園を管理している公園緑地課と連携し、全ての公園を一体的に管理して欲しい。その上で市全体として、公園を俯瞰的に見直して欲しいという意見がありました。 また、老朽化が原因で事故が発生する前に、必要なものは残しつつ、廃止すべき児童遊園は廃止した方が良いとの意見が多く寄せられました。今後少子化が進むという予測がある以上、少子化の蓋然性は高いと考えられるので、データに基づいて公園を廃止していくため、長期的なロードマップを作成することも重要ではという意見もありました。 以上の理由から、判定は「もう一步！（要改善）」となりました。	即時 反映	利用が乏しく、管理が困難になりつつある児童遊園については、廃止していく方向であることに賛同を得られたものと考えます。 また、近くの大きな公園と比べ小規模であっても、かえって混雑なく利用できるメリットがあるとの利用者の視点での意見について、想定外の気づきが得られました。 ロードマップについては市の思惑のみで廃止できる施設ではないことから困難と考えますが、公園の一括管理については、可否や問題点、メリットなどの視点で関係部局と協議を行います。	改善	即時反映	0	0	地域住民のニーズを反映しつつ、役割を終えた児童遊園は随時廃止していきます。 また、公園の一体的な管理については関係部局とも協議を行います。

No	事務 事業名	担当 課室	【点検結果】					【中間報告】		【最終報告】					
			判定	－内訳－			参考	判定のポイント となった理由	反映の 方向性	担当職員の 得られた気付き	ア 反映結果	イ 反映先	ウ 効果額（千円）		エ 市の考え方等 （具体的な見直し内容や方針）
				ちょっと 待った！ （廃止・凍結）	もう一 歩！ （要改善）	いい ね！ （継続）							スクラップ （減額）	ビルド （増額）	
8	放射線モニタリング事業	環境管理課	もう 一歩！ （要改善）	1	4	4	もう 一歩！ （要改善）	有事の際の対応など、安心・安全の継続性を担保して欲しいという意見が多くありました。その上で、測定回数の削減や、測定地点の見直しを図ったら良いのではという意見がありました。 また、市内にある県の施設や、隣接する自治体でも計測しているの、そういったところと情報発信などで連携できると良いという意見もありました。 その他、市への問合せ電話が0件であれば、市民が興味を持っていない（不安が解消されている）とは言い切れないのでは。市役所へ電話するのはハードルが高いので、ウェブサイトのアクセス数も指標になるのではといった意見もありました。 以上の理由から、判定は「もう一歩！（要改善）」となりました。	実行計画・令和3年度予算	問合せがなくても不安が解消されているとは言い切れないとの意見を頂きました。今後は、その点も配慮しながら慎重に事業の見直しを図ってきたいと思います。	改善	即時反映	0	0	これまで事業の見直しは、市民からの問合せ状況や市内にある県のモニタリングポストの測定値、隣接する自治体の測定状況を考慮して、回数等の見直しを実施してきました。 今後は、市のウェブページからも県内のモニタリングポストの測定値を見られるようにするとともに、ウェブページへのアクセス数を関心度の指標に追加し、見直しを実施いたします。
【事業目的】 東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故による市民の不安を軽減することを目的としています。															
【事業内容】 市内を11地区に分け、12の小中学校を代表地点として測定を行っています。結果を学校と共有し、市ウェブサイトで公表しています。															
9	雇用安定対策事業	商工業振興課	(1)中小企業退職金共済掛金補助 もう 一歩！ （要改善）	1	8	0	もう 一歩！ （要改善）	市内対象事業所が約6,000社あるのに対し、加入しているのが約500社程度であるため、波及効果が少ないという意見がありました。 また、1年目だけの補助では、その後の事業所の負担が大きく、加入を続けることができなくなった場合、離職につながりかねない。定着率を上げるためには、別の補助なども必要ではないかという意見もありました。 以上の理由から、判定は「もう一歩！（要改善）」となりました。 その他、「ちょっと待った！（廃止・凍結）」と判定した点検員からは、退職金で従業員を縛る時代は終わった。未来のお金より、現在の給料を上げて、財形年金などの自助努力ができることをアピールする時代になっているのではといった意見もありました。	実行計画・令和3年度予算	「退職」にスポットをあてるのではなく、現に今働いている人達に対する支援に主眼を置くべきという御意見がありました。まさにそのとおりだと感じました。 訓練校への補助は、市民目線ではもっと「ちょっと待った（廃止・凍結）」が多いと予測していましたが、そうではなかった。	改善	即時反映	0	0	本事業は退職金制度を自前では構築することが困難な事業者に対して、制度構築へのインセンティブを付与するものであり、事業者への聞き取りによると確かなニーズがあるため、引き続き実施してまいりたいと考えております。一方で、「今、働いている人への支援」はこのコロナ禍においても今後特に重要になることから、別途、検討していくとともに、本事業と合わせて、中小企業支援が展開できるよう取り組んでまいります。
【事業目的】 中小企業の従業員の福利の増進と雇用の安定及び中小企業に振興と発展を目的にしています。															
【事業内容】 単独では持つことが難しい退職金制度の確立を支援するため、中小企業者が退職金共済契約に基づき支払った掛金の一部を補助するものです。															
			(2)認定職業訓練運営費補助 もう 一歩！ （要改善）	0	7	2	もう 一歩！ （要改善）	職業訓練校への支援自体は良いと思うが、今の時代のニーズに合った内容となるよう、学校側と相談するなどして、課程の見直しが必要ではないかという意見が多くありました。 また、現在では様々な研修を提供する企業もあるので、そういった企業を活用し、企業による研修を受けるための補助金でも良いのではといった意見もありました。 以上の理由から、判定は「もう一歩！（要改善）」となりました。			改善	即時反映	0	0	訓練コースについては、時代のニーズに応じたものとなるよう、随時、学校側と協議のうえ、実施してまいります。
【事業目的】 職業能力の向上により雇用機会の拡充、従業員の定着・定住化を目的にしています。															
【事業内容】 労働者の能力の開発及びその資質の向上を図るため、市内の職業訓練法人の事業に要する経費の一部を補助するものです。															

No	事務 事業名	担当 課室	【点検結果】					【中間報告】		【最終報告】					
			判定	一内訳一			参考	判定のポイント となった理由	反映の 方向性	担当職員の 得られた気付き	ア 反映結果	イ 反映先	ウ 効果額（千円）		エ 市の考え方等 （具体的な見直し内容や方針）
				ちよつと 待った！ （廃止・凍結）	もう一 歩！ （要改善）	いい ね！ （継続）							コーデ ィネー ター 判定	スクラッ プ（減額）	
10	商店街街路灯設置等事業	商工業振興課	もう 一歩！ （要改善）	2	5	2	いいね！（継続） 商店街の活性化に直接的にはつながっていないのではないか。必ずしも街路灯への補助が必要とは思わないが、近年減少している商店街への支援は必要だと思うといった意見がありました。 また、市内の街路灯には3種類（道路、防犯、商店街）あることを知り、それぞれ所管課が違うので、市民の視点に立って、わかりやすく運営管理を1本化することが必要ではないかという意見がありました。 以上の理由から、判定は「もう一歩！（要改善）」となりました。 その他、「いいね！（継続）」と判定した点検員からは、LED化を活かして色鮮やかなイベント等で特色を出したらどうかといった意見や、商店街が衰退すると地域コミュニティの維持が難しくなるため、地域コミュニティ維持の観点では必要な事業ではないかといった意見もありました。	実行計画・令和3年度予算	運営管理の一本化については、市民の視点からすればもっともな意見であると感じました。 また、LED化を生かしたイベントに関する意見等、市民点検を実施することの意義を感じました。	改善	即時反映	0	0	本事業の実施により、商店街街路灯の適切な維持管理の促進に努めておりますが、商店街店舗の廃業等により、街路灯が消灯しているケースもあるため、商店街街路灯から防犯街灯への切り替え等については、商店会や町会、市危機管理課等との情報共有を図ってまいりました。運営管理の一本化については、設置目的が異なる等の問題もあり、直ちに実施することは困難ですが、市民生活に支障が生じることの無いよう、商店街街路灯の適切な維持管理の促進及び防犯街灯への切り替え等について、より一層、情報共有の徹底等に努めてまいります。	
11	社会教育振興事業	生涯学習課 生涯学習センター	もう 一歩！ （要改善）	0	8	0	もう一歩！（要改善） 目指すべきものが漠然としているので、現状をしっかりと把握し、目的を具体的かつ明確に設定して推進できるよう見直して欲しい。補助金は必要だと思うが、補助金も税金なので、お金は出すが口は出さないということにならないようにして欲しいという意見がありました。 また、PTA活動については、意欲的に参加する方もいれば、後ろ向きな方もいる。参加することで、どういったメリットがあるかを伝えていくべき。本当のターゲットは、親の学びと交流フォーラムをはじめとするPTA活動に不参加の保護者であり、そこにアプローチするため工夫を重ねて欲しいという意見もありました。 その他、親の学びと交流フォーラムは、夏休みや冬休み期間に実施した方がよいという意見もありました。 以上の理由から、判定は「もう一歩！（要改善）」となりました。	即時反映	PTA活動をマイナスに捉える意見もあるが、それ以上にその有用性について確認することができました。 市教育委員会との共催で行う「親の学びと交流フォーラム」については、オンラインを含めた開催方法やSNSを活用した周知方法を改めて検討しなければならないと感じました。	改善	即時反映	0	0	PTA活動に対する市民の理解と、充実した取り組みを支援するために、適切な助言を行ってまいります。 「親の学びと交流フォーラム」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点と、現地へ足を運ぶことができない人のために、今年度は動画配信をすることといたしました。内容も、保護者の関心が高い、子どものインターネット利用についての「学識者による講演会」「市教委担当者によるGIGAスクールの取り組みの説明」「市P連会長を交えた座談会」の三部構成にするなど充実を図りました。今後もSNSを活用するなど、より多くの方が視聴いただけるよう周知していきます。	
12	生涯学習フェスティバル開催事業	生涯学習課 生涯学習センター	もう 一歩！ （要改善）	0	5	3	もう一歩！（要改善） 生涯学習とは何かという問いに対して常に向き合い、事業の目的を明確にして取り組んで欲しいという意見がありました。 また、市民全体の参加を目指しているのであれば、若者向けの体験物を増やし、PRの仕方を工夫した方がよいという意見や、1日だけの開催ではなく、フェスティバルウィークとして長期間開催してもよいのではないかといった意見もありました。 その他、今年度の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染を防止するため、マニュアルを作成するなど、対策が必要だという意見もありました。 以上の理由から、判定は「もう一歩！（要改善）」となりました。	即時反映	生涯学習は広い活動を対象とする概念であるが、担当として目指すべき姿をしっかりと持つことが重要であると感じました。 また、生涯学習フェスティバルを開催することは、市民にとって有益であることが確認できましたが、実施内容や周知方法は改めて検討しなければならぬと感じました。	改善	即時反映	0	0	今年度は、新型コロナウイルスの感染症防止対策として、従来どおり集客しての開催ではなく、時間や場所を選ばず誰もが体験できる3つのメニュー「ヨガ」「ヒップホップ」「骨盤体操」を動画配信することとしました。 なお、講師は、生涯学習サポートバンク「まちのせんせい」に登録されている方々に、御協力いただきました。今後、より多くの方に視聴いただけるようSNS等を活用して周知していきます。 また、生涯学習フェスティバルという事業名称については、より親しみやすいものとするため、サブタイトルに「笑顔で体験☆笑フェス」を付け加えました。	

No	事務 事業名	担当 課室	【点検結果】					【中間報告】		【最終報告】					
			判定	一内訳一			参考	判定のポイント となった理由	反映の 方向性	担当職員の 得られた気づき	ア 反映結果	イ 反映先	ウ 効果額（千円）		エ 市の考え方等 （具体的な見直し内容や方針）
				ちよつと 待った！ （廃止・凍結）	もう一 歩！ （要改善）	いい ね！ （継続）							スクラップ （減額）	ビルド （増額）	
13	家庭教育支援事業	生涯学習課 生涯学習センター	もう 一歩！ （要改善）	0	7	1	もう 一歩！ （要改善）	できるだけ多くの保護者が参加しやすい仕組み作りが必要ではないか。指定校の10校以外にも学校の数を増やせないかといった意見がありました。 また、教職員やPTAなどの特定の人に負担が集中すると、継続できなくなってしまうため、負担軽減を具体的に考えるべき。家庭教育学級事業と子育て学習支援事業の内容が類似しているため、まとめてしまえばどうかという意見もありました。 その他、リーフレット配布については、電子媒体での配布の検討や、転入者に対して配布も実施した方がよいといった意見もありました。 以上の理由から、判定は「もう一歩！（要改善）」となりました。	即時 反映	家庭教育支援事業の重要性を改めて確認することができました。 学校で行う家庭教育は、教職員の負担につながる可能性があることを配慮しながら、今後も事業を継続していきたいと感じました。	改善	即時反映	0	0	家庭の教育力向上とその充実を図るために、今後も家庭教育支援事業を推進していきます。 「家庭教育学級事業」の実施にあたっては、メニュー・内容の充実とPTAの負担軽減を図るため、公民館との連携を検討するなど、効果的な活動になるよう支援していきます。 また、「家庭教育リーフレット」は、より多くの人が活用できるように記載内容の見直しと配布方法の追加（市外からの小・中学校転入時配布）を行います。

(4)点検結果が「もう一歩！（要改善）」、最終報告で「改善」とし、「実行計画・令和3年度予算」に反映させるとした事務事業（1事業）

No	事務 事業名	担当 課室	【点検結果】					【中間報告】		【最終報告】					
			判定	－内訳－			参考	判定のポイント となった理由	反映の 方向性	担当職員の 得られた気付き	ア 反映結果	イ 反映先	ウ 効果額（千円）		エ 市の考え方等 （具体的な見直し内容や方針）
				ちよつと 待った！ （廃止・凍結）	もう一 歩！ （要改善）	いい ね！ （継続）							スクラップ （減額）	ビルド （増額）	
14	地域資源を活かした観光振興事業	観光振興課	もう 一歩！ （要改善）	2	7	0	ちよつと待った！ （廃止・凍結）	事業自体がまだ知られていないため、SNSを活用したPRが必要。若者はチラシを見てここに行こう！という人はとても少数なので、やはりSNSが有効であるといった、広報に関する意見が多くありました。 また、事業目的があいまいで、小湊鉄道を維持したいのか、観光客を増やしたいのか、はっきりわからないところがあるので、その辺りを含めて見直しが必要ではないかという意見がありました。 以上の理由から、判定は「もう一歩！（要改善）」となりました。 その他、コロナ禍の状況で観光振興の難しさを感じた。予約制のバスツアーにした方がよいのではといった意見もありました。	実行計画・令和3年度予算	広域連携による観光地づくりの取り組み自体は理解が得られたものと認識しております。 バスの運行以外にも、観光誘客につながる効果的な手法について、近隣自治体等と連携を進めてまいります。	改善	実行計画・令和3年度予算	1,000		本事業は、広域連携の取組として、自治体相互の地域資源を補完し、新たな観光ルートを創出することを目的として、実証という形を取りながら、事業を実施してきました。 今後も外部からの更なる誘客促進のため、効果的でより魅力のある事業の構築について、実施事業のターゲットを明確化して、近隣自治体を含む関係団体等と協議を重ねていきます。 また、紅葉の色づき状況によって、周遊バスの乗車人数に差があるため、次年度の実施に当たっては、紅葉のピーク時にタイミングを合わせてバスの運行本数を見直します。その上で、実効性の高いPR方法を検討し、実施していきます。

(5)点検結果が「もう一歩！(要改善)」、最終報告で「改善」とし、「行財政改革アクションプランⅡ」に反映させるとした事務事業（1事業）

No	事務 事業名	担当 課室	【点検結果】					【中間報告】		【最終報告】					
			判定	一内訳一			参考	判定のポイント となった理由	反映の 方向性	担当職員の 得られた気付き	ア 反映結果	イ 反映先	ウ 効果額（千円）		エ 市の考えの方 （具体的な見直し内容や方針）
				ちよつと 待った！ （廃止・凍 結）	もう一 歩！ （要改善）	いい ね！ （継続）							スクラップ （減額）	ビルド （増額）	
15	魅力ある観 光地づくり 事業	観光振興 課	もう 一歩！ （要改善）	0	9	0	もう 一歩！ （要改善）	最終的な目的は観光客の誘致だが、目指しているのは、ボランティア団体の支援が本質だと思われるので、真の支援につながるための仕組みについて、再検討が必要ではないかという意見がありました。 また、ボランティアのモチベーションをあげるための仕組み、例えば、観光客の感動をボランティアに伝えるようなシステムを考えてはどうかといった意見もありました。 以上の理由から、判定は「もう一歩！（要改善）」となりました。 その他、ボランティアが頑張っている姿をSNSなどで発信するのでも市や観光地のPRにつながるのではといった意見もありました。	実行計 画・令和3 年度予算	事業内容について、市民に分かりやすく説明することの大切さ、難しさを痛感しました。 また、本補助金の対象である、魅力ある景観及び環境を整備する団体の活動状況について、対外的に発信することで、本事業の理解が得られ、活動されている皆様の励みとなります。 今後、各団体の活動内容や観光に資する取り組みに関する実情を把握に努め、効果的な補助となるよう検討いたします。	改善	行財政改 革アク ション ランII	0	0	地域団体が、主体的に実施する観光地づくりは、訪れる観光客へのおもてなしなど人と人との交流を通じて、関わる方々の達成感や充実感につながる重要な取組と認識しています。 市においては、これまで以上に各団体との丁寧な対話を行い、双方にとって真の支援につながる取組をめざします。 また、各団体のモチベーション向上につながるよう、これまでの活動内容や実績について、対外的に発信します。 今後は、本制度の周知と需要の掘り起こしを進め、各団体にとって、より利用しやすい要綱の見直しを図っていきます。

(6)点検結果が「いいね！（継続）」、最終報告で「継続」とした事務事業（1事業）

No	事務 事業名	担当 課室	【点検結果】					【中間報告】	【最終報告】						
			判定	一内訳一			参考	判定のポイント となった理由	反映の 方向性	担当職員の 得られた気付き	ア 反映結果	イ 反映先	ウ 効果額（千円）		エ 市の考えの方 （具体的な見直し内容や方針）
				ちよつと 待った！ （廃止・凍 結）	もう一 歩！ （要改善）	いい ね！ （継続）							コーディ ネーター 判定	スクラップ （減額）	
16	市原市ボラ ンティアセ ンター補助 事業	地域連携 推進課 地域連携 推進室	いいね！ （継続）	0	4	4	いいね！ （継続）	ボランティアの裾野を更に広げる工夫が必要。現状の事業費は、専従職員の人件費が8割を占めており、裾野拡大のための取組を充実させるため、活動経費を増額してもよいのではといった意見がありました。また、登録している趣味のサークル活動団体の中には、福祉施設への訪問を行うなど、社会貢献意識が高い方々もいることが推測されます。他分野の活動を知る事で、地域福祉活動を行うボランティアに興味を持つ方も増えると思われるので、団体間同士をつないだり、個人ボランティアに団体を紹介するなど、コーディネート機能の充実が図られていくことを期待したいという意見もありました。その他、市と社会福祉協議会のボランティアセンターが今後も連携を密にし、事業の在り方について改善を行って欲しいといった意見もありました。以上の理由から、判定は、「いいね！（継続）」となりました。	—	ボランティアは地域福祉を支える重要な担い手であり、その中間支援組織であるボランティアセンターと、引き続き連携を密にし、事業の在り方等について改善を図っていきます。ボランティアの裾野拡大については、市としても、まちづくりサポート事業にて、WEBサイトによる市民活動団体の情報発信、市民活動団体への補助金の交付等で推進していきます。団体同士のつながりや個人ボランティアへのコーディネーター機能についても、ボランティアセンターと市がそれぞれの専門性や強みを生かして充実を図っていきます。	継続	—	0	0	市民点検での気付きをボランティアセンターと共有し、ボランティアの裾野拡大とボランティア活動へのコーディネート機能の充実を図るために新たに実施する次の事業を支援すること、中間支援組織としてのボランティアセンターの機能強化を図ります。 ○小・中・高校生を対象とした災害ボランティア養成講座 ○地域福祉活動の担い手養成講座 ○地域福祉を担う地区社会福祉協議会及び小域福祉ネットワークとの連携・協働体制の強化を図る取組 また、市が実施するまちづくりサポート事業についてボランティアセンターを通じて積極的に広報することで、団体の情報発信の支援及び事業費補助金の活用につなげ、ボランティア活動の活性化を図ります。